

十二國竹枝詞

源朝陽詠

和歌

とよきこまつはくきこもれりいよまはれお路をうやけさる

魯西亜

うららも半れ海の春の月こきこれ歌をけあさる

唐土

月をそくく改つて花はあさる仲の夕見あく吹く

葡萄牙

うらうとは花やさうむたのみ改をびく友子とハいせ

佛蘭西

うまかせー里なつらんけく神なるをけくるおきら改山

羅馬

ねきうををせいであゆく國人も匠の歌をいうみん

宋利堅

水上の舟ハちんちん里んれよき世もあふる天れ川波

土耳其

あるちの上毛のまを吹くせ子くれなるくさみの上の月

烏鬼

みちもなま岩山けのまをのらうなまいつてくれあつて

英吉利

いそ山れ梢子ころく初句あゆきうふ雨れまをたえせぬ

李海生

ももちちうの梢さけいけけよりまのおそれぬねをめあさ

大日本

とよき世のあををうらー神あそひいよの神代の子ふりこを

文久三年癸亥孟春刻

杉乃庵